

平成30年12月3日（月）

（午後2時31分 再開）

○議長（岡 弘悟君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番5、15番 中本君。

〔15番（中本正人君）登壇〕

○15番（中本正人君）それでは、通告に従いまして一般質問を行います。

今回は、橋本市民運動公園プールについての1項目について、お伺いしたいと思います。

公園プールは、皆さんもご存じのとおり、平成3年に50mプールが完成、そして、翌年平成4年に子どもプール、そして、3年後の平成7年に流水プールが完成し、3プールが完成して、オープンして23年が経過します。市民はもちろんのこと、そして、近隣自治体、そして、河内長野市、五條市からも大勢の入場者にぎわっております。

公園プールについては本市の小・中学生に200円の割引券2枚を配布しております。本市の小学生、中学生の人数は、10月末現在で、小学生が2,961人、そして、中学生が1,311人、計4,272人であります。この運動公園は例年7月10日から8月末までの52日間、開園しております。

そこで、私が感じたことは、小・中学生に2枚の割引券を配布しておるという中で、その中で本年度の入場者数が1,016人ですか、本当に少ないなと思います。仮に52日間で1人が入場してもらっても4,200人からの入場者があっていいはずですが。しかし、52日間で1,016人というのはいかにも少ないなと私は感じました。

これは何が原因があるのかなと考えますし、この数字を見たときに、教育委員会としてど

のように受けとめているのかな、そして、1人でも多くの小・中学生が公園プールを利用していくための何かいい対策はないのかなということをお聞きしたいと思います。

なお、この質問は、指定管理ということでまことに答弁しにくいことは重々わかっております。私はこの9月議会において、また、12月議会もということで、まことに申しわけございませんけども、ご容赦願いたいということを申し上げまして、壇上からの一般質問を終わります。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君の質問、橋本市民運動公園プールに対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（小林俊治君）登壇〕

○教育長（小林俊治君）橋本市民運動公園プールについてお答えします。

橋本市民運動公園プール（前畑・古川記念プール）は、平成3年7月に50mプールの供用を開始し、翌年の平成4年7月に子どもプール、さらに、平成7年1月には流水プールも完成し、同年のプール開園時には計画されていた全てのプールをオープンすることができました。

また、それに伴い、市民の方のみならず、近隣市町や他府県からも多くの皆さまにご利用いただきながら現在に至っています。

当プールの入場者数につきましては、平成28年度は4万2,136人、平成29年度は4万3,644人、今年度は4万52人となっています。屋外の施設でもありますので、その年の気象状況や台風等により入場者数は影響を受けます。また、当プールの割引等のサービスについては、開設当初から平成23年度まで、開園

期間中3日間の無料開放日を設け、広く一般の利用客の集客に取り組んでまいりましたが、無料開放日の中でも、とりわけお盆の8月15日には来場者が集中し、安全性の確保が困難な状況となったことから、無料開放の廃止をした経緯があります。

一方、平成23年度からはサービス向上の取り組みの一つとして、指定管理者である公益財団法人橋本市文化スポーツ振興公社において、使用日は平日限定ですが、毎年200円の入場割引券2枚をプール開園までに各学校を通じて市内の小・中学生全児童生徒に対し配布しているところです。この割引券は配布した児童生徒本人だけではなく、大人でも利用できるものになっています。

過去の割引券での利用実績につきましては、平成28年度で1,689枚、平成29年度で1,724枚、今年度は1,387枚となっています。

議員おただしの、市内の小・中学生の入場が少ないのではということにつきましては、実際、プールへの入場時には市内の小・中学生であるかどうかを把握できていない現状にあります。しかし、市内小・中学生に配布している割引券の利用枚数を見ますと、今年度1,387枚のうち、子どもの利用が1,016枚でありましたので、少なくとも1,000人以上の市内小・中学生に橋本市運動公園プール（前畑・古川記念プール）を利用いただいています。

今後も指定管理者である公益財団法人橋本市文化スポーツ振興公社と協議を行い、市内小・中学生の利用増の対策を検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君、再質問ありますか。

15番 中本君。

○15番（中本正人君）ありがとうございます

た。

確かに、今、答弁を聞いていますと、1,000人からの小・中学生が利用しているんだなというふうに思えると思います。しかし、考えますと、現在、先ほども言いましたように、2枚の割引券を出しているということは、8,500枚からの枚数を配布しているということですよね。そのうち、先ほど教育長の答弁にもありましたように、子どもさんと親御さんを入れても1,400枚弱ですよね。そうなったときに、私は決して多いなと思いませんし、仮に小・中学生全員が、仮の話ですけども、このプール開園期間中に1回でも来てもらえたら、8,200人からの入場者があるというふうに考えられますよね。

もちろん、ですから、その辺について、まず私がお聞きしたいのは、教育長として、この利用者数をどのように受けとめているのか、教育長のお考えを一度お聞きしたいと思いません。よろしくをお願いします。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）今回、本年度、1,016枚という形で小・中学生が利用していると。前年度につきましては1,359枚、その前年度は1,261枚という、1,300枚から1,000枚の間で推移していると思っています。

実際を言いますと、これは橋本市運動公園プール（前畑・古川記念プール）であります。運動公園もそうですし、県立体育館もそうですし、プールにつきましても、行っていただきますと、議員も各位の皆さんもおわかりのように、大変ロケーションのいいところでありまして、橋本市がきれいに見える、非常にいい場所であります。

だから、1,000人という人数よりも、やっぱりもっと多くの小・中学生がこの地を訪れて、そこから見えるその風景というのを、橋本市というものをもう一度、プールだけではなく

て、見ていただく機会というのは大事なかなと思っ
ています。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君。

○15番（中本正人君）ありがとうございます。

私も今、教育長が申されましたように、その
ような考えはあります。ですから、利用者が
多いから少ないからではありませんけども、
今言われたように、やはりすばらしい運動公
園のプールを大いに見てほしい。そして、あ
のプールは前畑・古川記念プールでもありま
す。そういうことをもっと知ってほしいな
ということから、私、今回の質問に至ったわけ
です。

そこで、私、本年度の参加者を見てみます
と、約4万人からの入場者がありますけども、
小・中学生が1,016人というふうになっていま
すけども、この中で私は、この割引券は、平
日、月曜から金曜日までの利用ですよね。そ
こで、確かに日曜、祝日は2,000人から多い
ときは2,700人ぐらいの入場者でいっぱい
ですわね。しかし、その割に土曜日の入場者
でいいますと、日曜、祝日の5割から6割
もないというところだと私は思うんです。

ここで、私は提案したいんですけども、も
う少し利用するためには、やはり、特に小
学生の低学年の皆さんにとりましては、お
父さん、お母さんがお休みの土日曜日が
一番多いと思いますけど、日曜日は利用
できないという中で、土曜日にも割引
券を使用できることはできないかな、
今までの月曜から金曜までの割引券
の使用を月曜から土曜までに延ばす
ことはできないかなというふうに
私は考えます。そうすれば、多少
でも増えるのではないかなと思
うんですけども、その辺いかが
でしょうか。

もちろん、教育長も即答はできないと思
いますけども、その辺はやはり1回、指
定管理の文化スポーツ振興公社とも
相談してもらえ

ないかなというふうに思うんですけども、
いかがでしょうか。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）割引券につ
きましては、夏休みに入る前に児童
生徒全員に配布しております。本来、
利用料金につきましては、大人900
円、子ども450円という形になって
おります。平日のみ200円の割引
ということで、2枚、配布チラシに
添付しております。この2枚につ
きましては大人も子どもも利用
できるような形で、使っていただ
きますと、大人が700円、子ども
さんが250円という金額になり
ます。

今、議員おただしの、土曜日も
ということではありますが、やは
り先ほどからお話しさせてい
ただいていますように、文化ス
ポーツ振興公社との協議を経る
必要がございます。教育委員
会としましても、今、協議を
しております。とりあえず、違
った形での利用者数の増大を
考えて、将来的には土曜日、
確かに日曜日に比べて土曜日
の来場者は少ないですので、
将来的にそここのところは見
取り図をつけて、どこまで
行けるかというのを検討して
いきたいと思っています。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君。

○15番（中本正人君）よろしく
お願いしたいと思います。やは
り私は土曜日にも開園する
ということは、決して難しい
問題でもないと思うんです
よね。ですから、私は思うに
は、仮に500人の入場者があ
ってでも、1,000人あって
でも、2,000人あってでも、
維持管理費は変わりません
わね、何人来てでも。

そうしたときに、少しでも
増える可能背のあることを
やるべきやないかなという
ふうに、やはり私は考えま
すので、どうぞよろしく
お願いしたいと思います。

ここで話は変わりますが、
先ほど1回目の質問でも
お話ししましたが、五條市から

も河内長野市からもかなり1,000人からの利用者が例年あります。特に、五條市は上野公園プールが廃止になったということで、まして五條からは京奈和自動車道を通れば公園も近いということがあって、今年も1,100人からの入場者であります。

その中で五條市は、市民に対して補助金を出しております。大人900円に対して400円の補助金、そして、小・中学生の皆さんには400円のところを150円補助金を出していると思っています。しかし、それも3年計画で、今年で終了するというのも私は耳にしております。そうした場合に、1,100人からの入場者があった五條市からの入場者が、まるきりゼロになるとは考えませんが、かなり減るのではないのかなというふうにも考えます。

そこで、私が提案したいのは、やはり五條市に対しても本市と同じように、できることならばそういう割引券を配布することはできないかなというふうにも考えます。そして、できることならば、防災の三市協でもあります河内長野市にも、河内長野市はやはり市が大きいですから生徒も大きいです。ですから、やるやらないは別にしても、やはり河内長野市に対してもやっぱり教育委員会に対して、橋本市運動公園を利用してもらう人には割引券を配布するということはできなものか。

特に、先ほども言いましたように、五條市には、従来割引券があったものがなくなるということはかなり大きいと思いますので、その辺についてどうお考えになっているのか。これは、やるやらないは別にして、教育長の考えとしてお答え願えればと思いますので、よろしくお願ひします。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）五條市についての特別な対応というのは、五條市と協議をしながら、平成27年度からさせていただいています。

大体、毎年1,100人程度の大人と子どもがプールに来場してくれていると。来年度につきましてはまだ未定な部分がございますので、この部分については返答はしにくいと思っています。五條市の部分です。

ただ、今、当面、いろいろ文化スポーツ振興公社の人とお話もさせていただいて、協議もさせていただきまされたけども、当面は市内の小・中学生の増加を図る取り組みをしていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君。

○15番（中本正人君）よくわかりました。いろいろと事情がありますので、それは仕方ないと思います。

ただ、私、思いますには、やはり、小・中学生がプールを利用してくれることを増やしてほしいということはあると思います。ですけど、売り上げを増やせとは私は思っておりません。私の申し上げたいことは、やはり市内の小・中学生の皆さんに、前畑・古川記念プール、本市が生んだオリンピック・ゴールドメダリストの記念プールだということを私は知ってほしいというふうにも考えるわけです。

それがもし増えれば、イコール、収入増にもつながると思いますし、何よりも私は本市の2人のゴールドメダリストの名前を小学生の人たちに利用してほしいなというふうにも思うわけです。

そういう中で、今現在、割引券2枚配布しているということですけども、これも、先ほども言いましたように、1枚でも全員が使ってもらえれば4,200人からの入場者があるということ。仮に2枚使ってもらえれば8,500人からの入場者があるということですよ。これは、数字は別にしまして、ですから、この割引券を、今の現状、私、2枚というのがどこから出たのか、これはもう多分、文化ス

ポーツ振興公社のほうで考えたことだとは思いますが。

これを市当局として、向こうに運営権はあるんやから何も言えないということは私も理解します。しかし、市当局でも施設権というのはもちろんありますから、やはり運動公園のプールを大いに利用してもらえんということのために、両者がいい意味での協議、前向きな協議をしてもらえればいいんじゃないのかなというふうに考えます。

その中で再度お聞きしたいのは、今の現在の2枚の割引券を5枚、6枚と、枚数はお任せしますけども、もう少し増やしていただいて、小・中学生の皆さんが来てもらいやすいようにしたらどうかなと思うし、もし来られない方であれば誰かに譲ってあげてもいいですし、それによって利用枚数が増えれば僕はいいんじゃないのかなと思うんですけども、枚数を増やすということについてはご意見はどうでしょうか。別に経費は、印刷代が、今、2枚刷るのも仮に5枚、6枚刷るのも10枚刷るのも、僕はそんなに変わらないと思うし、その辺について、ご意見どうでしょう。

○議長（岡 弘悟君）教育長。

○教育長（小林俊治君）お答えします。

今、チラシには確かに大人も子どもも使える200円の割引券を2枚印刷して、切り取って使っていただくと。自動販売機は2種類ございます。そういう形で切り取った券と入場券とを2つ見せて入場していくという形をとっています。

公社とも協議をさせていただきました。いろんな方法はあるなということで、やっぱり市内の子どもたちが利用できるような体制をとるのも大事やろうと思います。そういうことで、一つの方法として、チラシに今まで2枚印刷してあったのを4枚使えるような印刷の形に変えるという方法、それから、チラシを増やして、例えば市報と同時にそのチラシを折り込んでいく方法、いろんな方法があるかと思いますが、今後協議をして、市内の児童生徒が前畑・古川記念プール、橋本市運動公園プールをより一層利用できるような体制をつくっていききたいと。

その中でもう一つ努力をするならば、土曜日をできるかどうかという、やはりこれ、プールの中で働いている人の人数というのも、同じというわけにはいきませんので、入場者数増に伴って、やはり働いていただく方の人数も増やしていくというところもございまして、それも検討しながら、まずは枚数を増やしていく方向に向けて努力をしていききたいと思っています。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君。

○15番（中本正人君）ただ今、教育長から前向きな答弁をいただきましたので、もう私これ以上申し上げることはございませんので、ひとつ何とかできるように、前向きにお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。終わります。

○議長（岡 弘悟君）15番 中本君の一般質問は終わりました。